子どもが伸びる環境とは

2016/10/6　花まる学習会　高橋　大輔

「よく学び、よく遊べ」
この言葉とともに育った方も多くいらっしゃると思います。ですが、現代の子どもたちを取り巻く環境は、以前と大きく異なってきています。健全に学び、鍛え、成長する。そんな「子どもが伸びる環境」について、一緒に考えていきましょう。

1．子どもの特性とは

（1）赤い箱と青い箱

・赤い箱（4～9歳）‥好き・楽しいが原動力、自己肯定感を育む時期
　忘れやすい、飽きっぽい、落ち着かない、恨みをもたない、反省しない
　順番や大小にこだわる、直観力に優れている…etc

・青い箱（11～18歳）‥愛と厳しさが大事、外の師に任せる時期
　学習体力がつく、コツコツが実を結ぶ、振り返りができるようになる
　親と距離を置く、外での大人との出会いに影響を受ける…etc

（2）愛情争奪戦

2．今、伸ばしたい力

（1）体力

（2）想像力

（3）没頭力

3．子ども達との関わり方

（1）「僕は3番？」
・1年生男子　S
・2人兄弟　長男

（2）ゲームからの卒業
・2年生男子　K
・夏休みを境にゲーム三昧。父母

（3）サヨナラ　ファミコン
・6年生男子　D
・約束を破ったその時、母がとった対応とは…

（4）「ちゃんと」の魔力
・3年生男子　Y
・あまりの字の汚さに母の怒りが爆発！そこで交わした約束は？

（5）自信喪失
・5年生女子　R
・母の口癖がRのごまかし癖を生み出す

（6）不登校からの脱却
・4年生女子　A
・震災を機に登校拒否となる。時間をかけて踏み出した一歩。

4．子どもが伸びる家庭の特徴

（1）遊び心
（2）家族間コミュニケーション
（3）「外」との関わり
（4）豊かな言語環境
（5）親子の表情
（6）何かひとつの「お約束」

家庭数

平成28年10月25日

会員の皆様

中町小学校　PTA
会長　浅尾　忠寛
家庭教育学級委員会

第二回家庭教育学級「子どもが伸びる環境とは」講演会報告

第二回家庭教育学級を下記の通り開催致しました。当日は多数ご出席を頂き、ありがとうございました。簡単ではございますが、内容の一部をご紹介させて頂きます。

記

- 日　時：　平成28年10月6日(木)　　ランチルームにて
- 出席者：　約80名
- 内　容：　花まる学習会講師、高橋大輔先生による講演『子どもが伸びる環境とは』

講演は、平成28年度家庭教育学級の共通テーマである「子どもの気になる行動と親のかかわり」をふまえ、花まる学習会講師、高橋大輔先生に「子どもが伸びる環境とは」というお話をして頂きました。

1 子どもの特性とは

・赤い箱と青い箱…年代別にそれぞれの特徴があります。

赤い箱(4～9歳)…好きが楽しい原動力、自己肯定感を育む時期、忘れやすい、飽きっぽい、落ち着かない、恨みを持たない、反省しない、直観力に優れているetc…

青い箱(11～18)…愛と厳しさが大事、外の師(先生など第三者)に任せる時期、学習体力がつく、コツコツが実を結ぶ、振り返りができるようになる、親と距離を置くetc…

・愛情争奪戦…兄弟関係のお話

責任感が強く、親から厳しくしつけられる兄(親から心配される)

要領がよく親から褒められる弟(親から可愛がられる)

一般的に長子の方が潰れやすいとされています。そこで、長子は「可愛がり」を意識して接し、子どもの行動の先読みをした発言や、「我慢しなさい」「しっかりしなさい」などの発言を控え、愛を伝えましょう。

これらの特性を踏まえる事で、親は子供との関わりが楽になります。

2 今、伸ばしたい力(将来社会に出たときに必要な力)

・体力…体育会系の強さを持つことで、朝に強くなり、体幹が強くなり姿勢がよくなる、体温調節ができる、声が大きくなる、そして自分に自信のある子(自己肯定感のある子)になる事ができます。

・想像力…相手の気持ちを考え、想像する力。子ども同士の社会を大事にし、様々なトラブルをあえてたくさん経験させる事で身に付きます。

・没頭力…五感を使う遊びを通し、よい集中(自分から夢中になる)を経験させる。しかし悪い集中(人からやらされる)にならないよう工夫する。

3 子ども達との関わり方

当日は、実際のお子さんの例をあげていただき、様々なトラブルの対処法やその後のお話をしていただきました。

4 子どもが伸びる家庭の特徴

①　遊び心　②　家庭間コミュニケーション　③　「外」との関わり　④　豊かな言語表現　⑤　親子の表情
⑥　何か一つの「お約束」

■当日はアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。
最後に高橋先生貴重なお話をありがとうございました。